

平成 18 年 9 月 6 日

コンテンツ専門調査会企画ワーキンググループ開始にあたって

國領二郎

ワーキンググループの開始にあたり、とるべき基本的な考え方について意見を述べます

1. デジタル通信やデジタル放送の進化はまだ始まったばかりであり、来るべき技術・ビジネスモデル開発競争の中で、日本の競争力を強化する策を講じる必要がある。日本から世界に先駆けた新しいコンテンツサービスが次々と生み出される状態を目指したい。そのためには既存の技術やビジネスモデルを守ることに拘泥することなく、新しい試みに可能な限り機会を提供する、イノベーションを重視する政策を取るべきである
2. 制度や規格づくりなどにおいて、利用者にとっての使いやすさや、コンセプトの受け入れやすさを重視すべきである
3. 世界戦略を持つべきである。日本国内だけに適用されるルールや規格に準拠したコンテンツ提供は避け、世界のどこでも提供できる技術とビジネスモデルを持つべきである
4. 今後多様化、多チャンネル化が予想されるコンテンツ産業の長期的な競争力を強化するために、広いクリエイターやアーティストの裾野を持ちたい。国民全員が表現者になりうるような基礎的な教育を小中レベルから推進するとともに、その中から才能あるものに英才教育をほどこして世界の頂点を極めてもらう仕組みを構築すべきである

以上